

1999年12月22日

ローランド株式会社

大阪市北区堂島浜1丁目4番16号

環境に配慮した独自の「E C O S」技術を採用

## パワーアンプSRA-600E 発売のお知らせ

低消費電力、低発熱量ながら、大音量を実現し、多様なPA用途に対応

品名 / 品番	パワーアンプ SRA-600E
発売日	1999年12月25日
初年度予定販売台数	2,000台

ローランド株式会社（本社：大阪市北区堂島浜1-4-16、社長：檀 克義、<http://www.roland.co.jp/> / 資本金：92億73百万円）は、E C O S技術（Efficiency Control Operation System）を採用したパワーアンプSRA-600Eを発売します。

従来のパワーアンプでは入力される音声信号の大小にかかわらず常に一定の電圧を増幅回路に加えていますので、音声信号の入力が無い場合でも常に一定量の電力を消費していました。

これに対し、ローランドが独自に開発したE C O S（Efficiency Control Operation System）技術は、アンプに入力される音声信号のレベルに応じた適切な電圧を増幅回路に供給することを可能にいたしました。

これにより、無駄な発熱ロスを低減し、低消費電力、低発熱量を実現することが可能となり、さらに放熱構造や電源部を小型軽量化することで、重量もおさえることが可能となりました。

今回発売いたしますSRA-600Eにおきましては、300W + 300W（8 負荷）、420W + 420W（4 負荷）あるいはBTL接続時には840Wというハイ・パワー出力を確保しながらも、同クラスの当社従来モデルに較べて、約1/2の圧倒的な低消費電力と、約1/3の低発熱量を実現。

また、放熱構造や電源部の小型化により、本体の小型化・軽量化も同時に実現しています。

当社従来製品比1/2

さらにSRA-600Eは、さまざまな機器と接続できる豊富な入出力端子を備えています。入力はXLRタイプのほか、TRS標準タイプ、ネジ式のインプット・ターミナルを装備。スピーカー端子部分には、バナナ・プラグやスピーカー・ケーブルを接続するインディンク・ポストに加え、高耐電流で、しかもコード抜けのトラブルを未然に回避することができるNeutrik社製のSpeakonも備えています。劇場・ホール等さまざまなPA現場に対応するとともに、低消費電力・低発熱量ですので、ビルや工場の館内放送用といった設備音響にも最適です。

### パワーアンプSRA-600Eの主な仕様

周波数特性：20Hz ~ 50kHz（+0 / -1 dB, 1W / 8 $\Omega$ ）

SN比：100dB以上（入力150 $\mu$ Vターミネート、入力感度+4 dBm, IHF-A）

入力インピーダンス：バランス・インプット = 10k $\Omega$ 、アンバランス・インプット = 10k $\Omega$

消費電力：285W

外形寸法：482（幅）438（奥行）93（高さ）mm（EIAJ-2Uラック・マウント・タイプ）

質量：9.8 kg

報道関係の方のお問い合わせは、下記にお願いいたします。

ローランド株式会社 広報室 室長 佐藤 知雄  
渡辺 徹

〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16

TEL:06-6345-9806 FAX:06-6345-9792

E-mail:koho@roland.co.jp

一般のお客様のお問い合わせは、下記にお願いいたします。

お客様相談窓口

東京 03 - 3251 - 6150

大阪 06 - 6345 - 9500